

感染症情報

5月6日～12日(第19週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★	→	引き続き流行中です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	→	食中毒もあります
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★		
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★	↑	発熱・発疹があります
⑯	RSウイルス感染症	★★	↓	少なくなりました
⑰	インフルエンザ	★		
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	↓	ほとんどみられません
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★	↓	少なくなりました
⑳	その他のかぜ症候群	★★		

「溶連菌感染症」は一時ほどではありませんが流行中です。真夏には減少しますがもう少しは多いと思われる。「RSウイルス感染症」「ヒトメタニューモウイルス感染症」は減少傾向です。「RSウイルス感染症」は昨年同様、夏期間中もみられるかもわかりません。
「インフルエンザB型」は第13週(3月末)を最後に当院ではみていません。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)も第13週以降まれにみられる程度です。夏以降に次の流行があるかどうかはわかりません。
つい最近「夏かぜ症候群」と思われる発疹を伴う発熱のお子さんがみられました。今後増加していくと思われます。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある